

会計人の教養

7



学校法人高橋学園

専門東京CPA会計学院熊本校

朝礼実習の進め方

<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教養長</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">進行</div> </div>	<p>進行役：① 一步前へ出る</p> <p>② 目線を全員に配る</p> <p>③ 15度の黙礼</p> <p>④ 「開始5秒前です。姿勢を正してください。」</p> <p>④ 元の位置に素早く戻る</p> <p style="text-align: center;">＝5秒後＝</p> <p>⑤ 15度の黙礼</p> <p>⑥ 「東京CPA会計学院、〇〇△△（フルネーム）、進行いたします。」</p> <p style="padding-left: 20px;">「〇月〇日〇曜日、ただいまより朝礼を始めます。」</p> <p style="padding-left: 20px;">「朝の挨拶、〇〇社長！」</p> <p>⑦ 元の位置に素早く戻る</p>
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">進行</div> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教養長</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">社長</div> </div>	<p>社長役：① 素早く一步前（輪の中央）に出る。</p> <p>② 目線を全員に配る</p> <p>③ 「みなさん！」</p> <p>全 員： 「おはようございます（30度の礼）」</p> <p>社長役：④ 「今日のスピーチ」</p> <p>全 員：⑤ 15度の黙礼</p> <p>社長役： 元の位置に素早く戻る</p>
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">進行</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">社長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">挨拶長</div> </div>	<p>進行役：① 一步前へ出る</p> <p>② 「挨拶実習、リーダー〇〇さん！」</p> <p>挨拶長：① 「はい！」</p> <p>② 「挨拶実習を始めます。お願いします！（30度の礼）」</p> <p>全 員：「お願いします！」</p> <p>挨拶長：① 「おはようございます！」</p> <p style="padding-left: 20px;">② 「おねがいします！」</p> <p style="padding-left: 20px;">③ 「ありがとうございました」</p> <p style="padding-left: 20px;">④ 「失礼します」</p> <p style="padding-left: 20px;">⑤ 「以上で挨拶実習を終わります！」</p> <p style="padding-left: 40px;">ありがとうございました（30度の礼）」</p> <p>全 員：「ありがとうございました（30度の礼）」</p> <p>挨拶長：元の位置に素早く戻る</p>

<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">進 行</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社 長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶 長</div> </div> <div style="margin-top: 10px; border: 1px solid black; padding: 2px;">教 養 長</div> </div>	<p>進行役：①一步前へ出る ②「会計人の教養輪読、リーダー〇〇さん！」</p> <p>教養長：①「はい！」</p> <p>進行役：元の位置に素早く戻る</p> <p>教養長：「お願いします！」</p> <p>全 員：「お願いします！」</p> <p>教養長：① 全員の体制が整ったのを確認 ② 「〇ページをお開き下さい」 ③ 「〇月〇日〇曜日、『テーマ』、『本文』」</p> <ul style="list-style-type: none"> ★段落ごとに教養長が「はい！」と区切る ★順番に「はい！本文(途中段落)…」と続けて本文を読む ★最後に教養長が「はい！ありがとうございました。本文(最終段落)…」 <p>④ 全員が落ち着いたことを確認 ⑤ 「今日の心がけを斉唱いたしましょう」 「今日の心がけ！」</p> <p>全 員：「〇〇〇をしましょう！」</p> <p>教養長：「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>全 員：「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>教養長：元の位置に素早く戻る</p>
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">進 行</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社 長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶 長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教 養 長</div> </div> </div>	<p>進行役：①一步前へ出る ② 「以上で朝礼を終わります。」 「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>全 員：「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>進行役：「解散します！解散！」</p> <p>全 員：「はい！」</p>

26 24 23 22 20 19 18 11 5 4 3 2 1

金 水 火 月 土 金 木 木 金 木 水 火 月

青色発光ダイオード
CPAの学び
中小法人の特例
金閣寺
組織再編
パワースピーチコンテスト
インフルエンザ
ガム
ザ・ゴール
はんだ付け
ベンチャーキャピタル
ナポレオン・ボナパルト
肝機能

13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

楽観よし 悲観よし
悲観の中にも道があり、
楽観の中にも道がある。

学校掲示「今日の言葉」より

※「今日の言葉」とは、名言・格言を自由に書くコーナーです。

2019 JULY

令和元年 文月 [ふみづき]

第5巻07号 (通算49号)

今月の目標

※ここに、今月の目標を記入しましょう。

青色発光ダイオード

青色発光ダイオード（LED）は、発明者である日本人三名が、二〇一四年度ノーベル物理学賞に輝いたことで、一気にその名が広がりました。

この発明以前は、白熱電球や蛍光灯などの明かりがありました。これらはエネルギーを多く消費するため、省エネルギーなLEDの研究が進められてきたのです。

今から百年以上前にLEDの元となる発光体が発見されてから、約半世紀後には赤色、黄色、緑色などのLEDが次々と作られました。

しかし、最も実用性の高い白色のベースとなる青色だけが作れず、「二十世紀中の実現は不可能」とまでいわれていました。そのため、青色LEDの発明は、世界中に非常に大きなインパクトを与えることになりました。

現在、この発明は照明だけでなく、様々な用途に応用され、私たちの日常に欠かせないものとなっています。普段利用しているものが、どのように発明されたのか調べてみるのも楽しいかもしれませんね。

今日の心がけ◆多くの物事に興味を持ちましょう。

私たちは、簿記会計を学ぶためにCPAに入学しました。

しかし、実際にCPAの生活を送ってみると、簿記会計だけでなく、挨拶の大切さ、目上の方との接し方、人間性の大切さなど、たくさんのことを学ぶことができます。

また、先輩と後輩との関わりも深く、同級生以外の人とも積極的に関わることで、今の自分と違う視点や感性を持つこともできます。

さらに、先生方は、学生に対して本気で向き合ってくれます。学生が悩みを相談するときには、私たちの将来まで見据えて、一人ひとり違ったアドバイスを与えてくれます。

それぞれの学生が、CPAの生活を通して感じていることや学んでいることは違うと思いますが、CPAで学んだことは必ず社会で生きていくと確信しています。様々なことにチャレンジして、本気の二年を過ごしましょう。

今日の心がけ◆本気の二年を過ごしましょう。

中小法人の特例

みなさんは、中小法人という言葉をご存知でしょうか。

中小法人とは、資本金の額が一億円以下である法人等をいい、中小法人に該当した場合は、法人税法上、様々な優遇措置の適用を受けることができます。

例えば、法人税法上、原則として貸倒引当金の設定は認められていませんが、中小法人の場合は、貸倒引当金の設定が認められます。

他にも、法人税の税率は二十三・二パーセントですが、中小法人の場合は、年八百万円以下の所得には十五パーセントの軽減税率が適用されるなど、中小法人でない法人に比べて中小法人は優遇されており、仮に資本金の額が一億円を超え、優遇措置を受けることができないとなると、それは会社経営に影響を与える恐れがあります。

このように、資本金の額は会社経営を行う上で非常に重要な要素ということが分かります。会計・税務の学びを通して中小法人の特例について学ぶことは大事なことでないでしょうか。

今日の心がけ◆**資本金の額に注目しましょう。**

京都には、荘厳な歴史的建造物が数多く現存しています。その中でも特に有名なものが金閣寺です。

金閣寺は正式名称を鹿苑寺といい、一三九七年に、室町幕府将軍の足利義満により建立されました。

実は金閣の装飾は、階が低くなるにつれて地味になっており、一階部分には金箔が塗られていないことが外観からも見て取れます。これは、義満が自らの権力を誇示するため、二階は義満を、一階は武士を、一階は貴族を表現したためだといわれています。

一九五〇年には、放火により一度全焼していますが、一九五五年に再建され、一九九四年には世界文化遺産に登録されました。現在では、日本を代表する建造物として世界中の人々から愛されています。

このような歴史を知ること、金閣寺に対する印象も大きく変わるのでないでしょうか。興味を持ったものは、一度時間をかけて調べてみるのもいいかもしれませんね。

今日の心がけ◆学びを深めましょう。

みなさんは、組織再編をご存知でしょうか。

これは、企業組織を編成し直すことで、合併、株式交換、移転、会社分割といった様々な形態があります。

組織再編で得られるメリットは数多く存在します。事業の整理はもちろんですが、競争力の強化、会社規模の拡大によるスケールメリットの獲得、新規事業への参入、事業の多様化、従業員や技術の承継など多岐にわたります。

近年ではこの組織再編が増えてきています。この背景には、少子高齢化問題や、企業のグローバル化などがあり、法制度の整備もこれを後押ししています。平成九年の独占禁止法の改正をきっかけに、株式交換制度の創設、連結納税制度の導入、民事再生法の施行、会社法の施行と、法制度が整備されてきました。

最近の社会の動きの背景には必ず理由があります。みなさんは、簿記を学習する中で、なぜ、このような会計処理を行う必要があるのかなどを考えながら学習に取り組むことで、より深い学びを行うことができるのではないのでしょうか。

今日の心がけ◆事象の背景を考えましょう。

パワースピーチコンテストとは、授業の一環として当校で行われている一大イベントです。今年度で五回目を迎え、八月二十二日にくまもと森都心プラザホールで本選が行われます。

このイベントの大きな目的は、人間関係を築く上で大切な、人に物事を伝える力、すなわちプレゼン力を身につけることです。

授業では、話す姿勢、効果的なパワーポイントの使い方、話し方など様々なことを学びます。そして、スピーチコンテストでは、これまでの成果を発表します。本校の関係者だけでなく、学校外のたくさんの方の前で話し、評価を得ることで大きく成長することができます。

今年度は、予選を行うため、残念ながら全員を森都心で発表させることはできませんが、予選から全員が全力を出して頑張ります。

ぜひ、八月二十二日の本選を見に来てください。「来てよかった」「感動した」というお客様の声で溢れることを確信しています。

今日の心がけ◆スピーチコンテストに足を運びましょう。

インフルエンザとは、インフルエンザウイルスによって引き起こされる急性感染症のことをいいます。

季節性インフルエンザには、A型、B型、C型の三種類があり、すべての年齢層に対して感染し、世界中で繰り返し流行しています。

日本などの温帯では、冬季に毎年のように流行し、通常、四月から五月には流行は収まりますが、冬季だけに流行する感染症ではなく、夏季にも流行することがあり、A型は平均相対湿度五十パーセント以下になると流行しやすくなると報告されています。

インフルエンザは飛沫感染でうつり、飛沫に含まれる病原体が、口や鼻などの粘膜に直接触れることにより感染を広げています。

インフルエンザにかからないためにも、正しい予防法を身につけ、感染を防ぐ努力をしましょう。

今日の心がけ◆インフルエンザに気をつけましょう。

みなさんは、普段ガムを噛みますか。現代人の食生活では、食事の際に行う咀嚼だけでは噛む回数が不十分だといわれています。

「噛む」という行為には様々な効果があります。物を噛み続けていると、アゴを動かす咬筋が活発に運動し、咬筋内にある感覚器官を刺激して感覚神経が活発になることで、眠気を防いだり、集中力を高めたりすることができます。

他にも、がんや生活習慣病の予防、免疫力アップ、口臭予防、幸せホルモンと呼ばれる「セロトニン」の分泌など、「噛む」ことは体や心に良いことばかりです。

この「噛む」という行為を、ガムを用いることでいつでもどこでも行うことができます。さらに、ガムの中でも、キシリトール、リカルデント、ポスカムなどの成分が含まれているものは、虫歯予防を助ける働きがあります。

私たちも、集中して学習に取り組みたいときや、眠気を覚ましたいときなどは、ガムを噛んでみてはいかがでしょうか。

今日の心がけ◆ガムを噛みましょう。

みなさんは、「The Goal」という本をご存じでしょうか。

この本は、一九八四年に物理学者であるエリヤフ・ゴールドラット博士によって著述され、全世界で一千万人以上に読まれている大ベストセラーの名著です。この本で提唱された「TOC（制約理論）」という生産管理の理論は、製造業に大きな影響を与え、ビジネスにおける問題解決の手法にも応用されています。

日本企業の競争力が世界を席卷していた発刊当時、「日本で翻訳出版されると、貿易の不均衡がますます加速し、世界経済が破滅する」という著者の意向により、二〇〇一年まで翻訳出版が禁じられていた、いわくつきの一冊です。

TOCでは、「工場の生産性はボトルネック工程の能力以上には向上しない」という基本原理をもとに、全体最適の視点からボトルネック工程を改善することで、在庫が劇的に減少し、生産性を飛躍的に高めることができます。

みなさんも、目的達成を困難にしている問題や障害を正しく認識し、日々のパフォーマンスを高めましょう。

今日の心がけ◆ボトルネックを解消しましょう。

みなさんは、はんだ付けという技術を知っていますか。

はんだ付けとは、はんだという鉛とスズを主成分とした合金を、はんだごとと呼ばれる工具によって、金属同士の接合や電子部品をプリント基板に固定するために用いられる技術のことをいいます。

はんだは、金属の含有率や太さによって用途が異なり、環境を意識し、有害物質である鉛を含まない「鉛フリーはんだ」という種類もあります。はんだの名前の由来は、人名とも地名ともいわれていますが、地名を由来とする説には、江戸時代の銀山であった半田山からきているようです。

さらに、はんだ付けの歴史は古く、紀元前三千年頃の青銅器時代には存在していたと考えられており、エジプトのツタンカーメン王の墓からもはんだ付けを使った装飾品が出土しているほか、あの有名な奈良の大仏にも使用されています。

普段はあまり目にするのではないはんだ付けの技術ですが、私たちの生活に密接に関わっている技術です。積極的に目を向け、感謝しましょう。

今日の心がけ◆はんだ付けの技術に感謝しましょう。

みなさんは、ベンチャーキャピタルという会社をご存知でしょうか。

ベンチャーキャピタルとは、まだ知名度のないベンチャー企業に投資する投資会社のことです。資金調達が難しいベンチャー企業に対して、成長するための資金を提供してくれます。

投資後は、ベンチャー企業が株式公開する段階で売却し、キャピタルゲイン（売却差額）を獲得して利益を得るため、お互いにメリットがあります。

他にも、ベンチャーキャピタルから投資を受けることができれば、その後の資金調達が有利になる、提携先を紹介してもらえる、経営支援を受けることができるなど、様々なメリットが挙げられます。しかし、その反面、出資者の意向が強く反映されることや、事業に失敗した場合には、資金回収がシビアになるなどのデメリットもあります。

投資を受けるかどうかは、入念な準備のもとで、意思決定することが大切です。

今日の心がけ◆メリットとデメリットを考えましょう。

「余の辞書に不可能という文字はない。」という名言を残したのが、ナポレオン一世としてフランスの初代皇帝の座に就いた、ナポレオン・ボナパルトです。

ナポレオンは、一七六九年フランス領コルシカ島に生まれます。十五歳のときに士官学校に入学し、通常卒業までに四年かかるところを、わずか十一か月というスピードで卒業しています。

砲兵士官として任官された後も、目覚ましい功績を次々に残すと、驚異的な速さで昇進を果たし、瞬く間にフランス軍の英雄となります。

一七九九年(三十歳の頃)にはクーデターを断行し新政府を樹立、一八〇四年(三十五歳の頃)には国民投票により圧倒的な支持を受けて、皇帝に即位します。絶頂期には、ヨーロッパ大陸の大半を勢力下に置きますが、一八一二年(四十三歳の頃)のロシア遠征で大敗を喫し、その後も対仏大同盟の連合軍に敗れ、退位します。

フランスの名もなき青年が皇帝となり、国を変えていきました。西郷隆盛や吉田松陰をはじめ、幕末の偉人達もその生涯に大いに影響を受けたそうです。

今日の心がけ◆志を高く持って学びましょう。

肝臓は、五百種類もの化学反応を短時間で行う臓器で、その働きは多岐にわたっています。

まず、肝臓は人間の身体が行うすべての物質代謝の中心的存在です。三大栄養素である、糖質、蛋白質、脂質を身体に取り込んだり、たくわえたり、またそれを使うことをします。

次に、肝臓には、体内の不要物を解毒する作用があります。体内に取り込まれたアルコールや薬は肝臓で解毒されて、体外へと出ていきます。この作用が十分でないといつまでも身体の中に、有害な物質が残るといことになります。

最後に、肝臓は胆汁という消化液を分泌します。これは脂肪の消化を助けるとともに、赤血球の分解産物であるビリルビンの排泄を担っています。

肝臓は、少々悪くなっても症状が出ないため、沈黙の臓器とも呼ばれています。そのため、早めの検査や予防をすることが大切になってくると思います。

今日の心がけ◆肝臓を労わりましょう。